

自筆原稿などを展示して賀川豊彦の文学に焦点を当てた企画展
— 神戸市灘区の神戸文学館で



賀川豊彦の思想知る

文学作品に焦点の企画展

神戸

近代日本を代表する

社会運動家、賀川豊彦

(1888～1960)

の文学作品に焦点を当てた企画展「愛の労苦と希望—賀川豊彦の文学」が1日、神戸市灘

区の神戸文学館で始まった。来年2月24日まで。無料。

賀川は協同組合運動

などの主導者として知られる一方、ベストセ

ラー小説「死線を越えて」など、多くの文学作品も残した。企画展は

直筆原稿や書簡、写真など約100点から賀川の思想に迫る。「死

線を越えて」の元にな

ったとされる原稿「再生」のほか、小説「空中征服」で使われた当時の世相を風刺する挿絵なども展示している。

山本幹夫館長は「賀川本人は自身の出発点を詩と考えており、文学から見っていくと賀川のことがよく分かる」と話している。

【川口裕之】